



平成 29 年 6 月 16 日

各 位

東京都品川区西五反田 1 丁目 1 番 8 号
N M F 五 反 田 駅 前 ビ ル 7 階
サクセスホールディングス株式会社
代表取締役社長 佐々木 雄一
(コード番号：6065 東証第一部)
問合わせ先 管 理 部 長 石 井 大 介
T E L 03-6431-9899

(訂正)「平成 29 年 4 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 29 年 3 月 10 日に開示いたしました「平成 29 年 4 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

1. 訂正の理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、平成 29 年 6 月 14 日付「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明及び有価証券報告書等の訂正報告書の提出並びに過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には____を付して表示しております。また、表示単位未満の数値を訂正している場合においても、____を付して表示しております。

以 上

【訂正後】



平成29年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月10日

上場会社名 サクセスホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6065 URL <http://www.success-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石橋 周

TEL 03-6431-9899

四半期報告書提出予定日 平成29年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第3四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成29年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第3四半期	10,694	—	231	—	376	—	248	—
28年4月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年4月期第3四半期 265百万円 (—%) 28年4月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第3四半期	47.41	41.52
28年4月期第3四半期	—	—

(注) 前連結会計年度は決算期変更により平成28年1月1日から平成28年4月30日までの4ヶ月間であったため四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、前年同四半期増減率及び前期の連結経営成績(累計)につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年4月期第3四半期	11,081	2,243	20.2	428.02
28年4月期	10,629	2,082	19.6	397.44

(参考) 自己資本 29年4月期第3四半期 2,243百万円 28年4月期 2,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	—	—	10.00	10.00
29年4月期	—	10.00	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	—	468	—	1,100	—	675	—	128.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 前連結会計年度は決算期変更により平成28年1月1日から平成28年4月30日までの4ヶ月間であったため四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、前期増減率につきましては記載しておりません。

【訂正後】

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年4月期3Q	5,241,000 株	28年4月期	5,241,000 株
29年4月期3Q	92 株	28年4月期	92 株
29年4月期3Q	5,240,908 株	28年4月期3Q	— 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)前連結会計年度は決算期変更により平成28年1月1日から平成28年4月30日までの4ヶ月間であったため四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、28年4月期3Qの期中平均株式数(四半期累計)は記載しておりません。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【訂正後】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(注) 前連結会計年度は、決算期変更により4ヶ月決算となっておりますので、前年同期比較については記載しておりません。

また、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性はあるものの、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復へ向かうことが期待されております。

保育業界におきましては、特に都市部において共働きの子育て世帯が増加する中、保育士や用地の確保等の課題が大きく、待機児童問題はますます深刻化しており、事業所内保育に対する補助金や保育士の処遇改善に対する支援金等、保育施設の新規開設と保育士の確保を推進すべく様々な施策が導入されております。

このような状況のもと、当社グループでは、親会社であるライク株式会社の連結子会社である総合人材サービス事業を営むライクスタッフィング株式会社との連携により、保育士の採用力と定着率の向上を図り、認可保育園・学童クラブ等の公的保育施設の開設と、事業所内保育施設の受託の強化に注力いたしました。

なお、平成28年12月1日に、ジェイコムホールディングス株式会社はライク株式会社へ、ジェイコム株式会社はライクスタッフィング株式会社へ、商号を変更いたしました。

当第3四半期連結累計期間において新たに開設した施設は8施設となりました。

(受託保育事業)	合計 3 施設
・病院内保育施設	合計 2 施設
岐阜県	2 施設 (岐阜市 2 施設)
・企業内保育施設	合計 1 施設
愛知県	1 施設 (名古屋市 1 施設)
(公的保育事業)	合計 5 施設
・認可保育園	合計 2 施設
東京都	2 施設 (新宿区 1 施設、板橋区 1 施設)
・学童クラブ、児童館	合計 3 施設
東京都	2 施設 (品川区 2 施設)
千葉県	1 施設 (浦安市 1 施設)

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,694,616千円、営業利益は231,022千円、経常利益は376,686千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は248,466千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(受託保育事業)

受託保育事業におきましては、企業・病院・大学等が設置する保育施設を受託運営しておりますが、受託契約の更改前に保育士の給与等の処遇改善を行った結果、売上は拡大したものの、利益は予算を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,944,364千円、営業利益は101,418千円となりました。

(公的保育事業)

公的保育事業におきましては、立地等の条件面でも保育の品質においても利用者様に選ばれ続ける認可保育園や学童クラブ等の新規受注と開設の準備に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,750,251千円、営業利益は804,293千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の総資産は11,081,326千円（前連結会計年度末比452,137千円増）となりました。

（流動資産）

流動資産は4,353,374千円（同44,046千円減）となりました。これは、未払金の減少に伴い現金及び預金が前連結会計年度末比で55,618千円減少したためです。

（固定資産）

固定資産は6,727,952千円（同496,183千円増）となりました。これは主に新規施設の建設仮勘定が479,491千円増加したためです。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は8,838,115千円（同291,862千円増）となりました。

（流動負債）

流動負債は3,337,831千円（同40,751千円減）となりました。これは、主に前受金が235,876千円増加したものの、未払金が79,170千円、未払法人税等が216,441千円減少したためです。

（固定負債）

固定負債は5,500,284千円（同332,614千円増）となりました。これは、主に公的保育事業における新規施設の設備投資のために、長期借入金が322,753千円増加したためです。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,243,210千円（同160,274千円増）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益248,466千円による利益剰余金の増加と、平成28年4月期の期末配当金52,409千円、中間配当金52,409千円による利益剰余金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年6月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,623,748	2,568,130
受取手形及び売掛金	<u>1,054,264</u>	1,088,287
原材料及び貯蔵品	17,490	4,842
繰延税金資産	<u>110,037</u>	111,669
その他	<u>594,215</u>	<u>583,515</u>
貸倒引当金	△2,335	△3,070
流動資産合計	<u>4,397,420</u>	<u>4,353,374</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,089,874	5,307,063
減価償却累計額	<u>△1,204,603</u>	<u>△1,458,379</u>
建物及び構築物（純額）	<u>3,885,271</u>	3,848,683
リース資産	689,528	689,528
減価償却累計額	△93,141	△117,555
リース資産（純額）	596,387	571,973
建設仮勘定	246,487	725,978
その他	326,046	344,422
減価償却累計額	△205,326	△244,761
その他（純額）	120,719	99,660
有形固定資産合計	<u>4,848,865</u>	5,246,296
無形固定資産	41,237	33,533
投資その他の資産	<u>1,341,666</u>	<u>1,448,121</u>
固定資産合計	<u>6,231,769</u>	<u>6,727,952</u>
資産合計	<u>10,629,189</u>	<u>11,081,326</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	891,346	961,609
リース債務	29,983	30,445
未払金	632,928	553,758
未払法人税等	265,866	52,069
前受金	440,327	676,203
賞与引当金	244,927	180,528
その他	873,202	883,215
流動負債合計	3,378,582	3,337,831
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	3,185,556	3,508,309
リース債務	575,371	552,479
退職給付に係る負債	188,504	212,418
資産除去債務	218,237	227,077
固定負債合計	5,167,670	5,500,284
負債合計	8,546,253	8,838,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	285,771	285,771
資本剰余金	510,439	510,439
利益剰余金	1,375,820	1,519,469
自己株式	△137	△137
株主資本合計	2,171,894	2,315,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	77
退職給付に係る調整累計額	△89,133	△72,410
その他の包括利益累計額合計	△88,957	△72,332
純資産合計	2,082,936	2,243,210
負債純資産合計	10,629,189	11,081,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日)
売上高	10,694,616
売上原価	9,115,807
売上総利益	1,578,809
販売費及び一般管理費	1,347,786
営業利益	231,022
営業外収益	
受取利息	4,322
受取配当金	5
設備補助金収入	156,868
その他	18,652
営業外収益合計	179,847
営業外費用	
支払利息	31,897
支払手数料	2,000
その他	286
営業外費用合計	34,184
経常利益	376,686
税金等調整前四半期純利益	376,686
法人税等	128,219
四半期純利益	248,466
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,466

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日)
四半期純利益	248,466
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△98
退職給付に係る調整額	16,723
その他の包括利益合計	16,624
四半期包括利益	265,091
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	265,091

【訂正後】

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,944,364	<u>7,750,251</u>	<u>10,694,616</u>	—	<u>10,694,616</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,944,364	7,742,254	<u>10,694,616</u>	—	10,694,616
セグメント利益	<u>101,418</u>	<u>804,293</u>	<u>905,712</u>	△674,689	<u>231,022</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△674,689千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

【訂正前】



平成29年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年3月10日

上場会社名 サクセスホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6065 URL <http://www.success-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石橋 周

TEL 03-6431-9899

四半期報告書提出予定日 平成29年3月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第3四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成29年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第3四半期	10,686		400		546		361	
28年4月期第3四半期								

(注) 包括利益 29年4月期第3四半期 378百万円 (%) 28年4月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第3四半期	69.04	60.46
28年4月期第3四半期		

(注) 前連結会計年度は決算期変更により平成28年1月1日から平成28年4月30日までの4ヶ月間であったため四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、前年同四半期増減率及び前期の連結経営成績(累計)につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年4月期第3四半期	10,876	2,717	25.0	518.44
28年4月期	10,475	2,443	23.3	466.23

(参考) 自己資本 29年4月期第3四半期 2,717百万円 28年4月期 2,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期				10.00	10.00
29年4月期		10.00			
29年4月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800		468		1,100		675		128.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 前連結会計年度は決算期変更により平成28年1月1日から平成28年4月30日までの4ヶ月間であったため四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、前期増減率につきましては記載しておりません。

【訂正前】

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年4月期3Q	5,241,000 株	28年4月期	5,241,000 株
29年4月期3Q	92 株	28年4月期	92 株
29年4月期3Q	5,240,908 株	28年4月期3Q	株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)前連結会計年度は決算期変更により平成28年1月1日から平成28年4月30日までの4ヶ月間であったため四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、28年4月期3Qの期中平均株式数(四半期累計)は記載しておりません。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(注) 前連結会計年度は、決算期変更により4ヶ月決算となっておりますので、前年同期比較については記載しておりません。

また、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性はあるものの、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復へ向かうことが期待されております。

保育業界におきましては、特に都市部において共働きの子育て世帯が増加する中、保育士や用地の確保等の課題が大きく、待機児童問題はますます深刻化しており、事業所内保育に対する補助金や保育士の処遇改善に対する支援金等、保育施設の新規開設と保育士の確保を推進すべく様々な施策が導入されております。

このような状況のもと、当社グループでは、親会社であるライク株式会社の連結子会社である総合人材サービス事業を営むライクスタッフィング株式会社との連携により、保育士の採用力と定着率の向上を図り、認可保育園・学童クラブ等の公的保育施設の開設と、事業所内保育施設の受託の強化に注力いたしました。

なお、平成28年12月1日に、ジェイコムホールディングス株式会社はライク株式会社へ、ジェイコム株式会社はライクスタッフィング株式会社へ、商号を変更いたしました。

当第3四半期連結累計期間において新たに開設した施設は8施設となりました。

(受託保育事業)	合計 3 施設
・病院内保育施設	合計 2 施設
岐阜県	2 施設 (岐阜市 2 施設)
・企業内保育施設	合計 1 施設
愛知県	1 施設 (名古屋市 1 施設)
(公的保育事業)	合計 5 施設
・認可保育園	合計 2 施設
東京都	2 施設 (新宿区 1 施設、板橋区 1 施設)
・学童クラブ、児童館	合計 3 施設
東京都	2 施設 (品川区 2 施設)
千葉県	1 施設 (浦安市 1 施設)

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,686,618千円、営業利益は400,711千円、経常利益は546,375千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は361,853千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(受託保育事業)

受託保育事業におきましては、企業・病院・大学等が設置する保育施設を受託運営しておりますが、受託契約の更改前に保育士の給与等の処遇改善を行った結果、売上は拡大したものの、利益は予算を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,944,364千円、営業利益は148,580千円となりました。

(公的保育事業)

公的保育事業におきましては、立地等の条件面でも保育の品質においても利用者様に選ばれ続ける認可保育園や学童クラブ等の新規受注と開設の準備に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,742,254千円、営業利益は926,821千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の総資産は10,876,763千円（前連結会計年度末比400,793千円増）となりました。

（流動資産）

流動資産は4,180,617千円（同97,096千円減）となりました。これは、未払金の減少に伴い現金及び預金が前連結会計年度末比で55,618千円減少したためです。

（固定資産）

固定資産は6,696,146千円（同497,889千円増）となりました。これは主に新規施設の建設仮勘定が479,491千円増加したためです。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は8,159,659千円（同127,134千円増）となりました。

（流動負債）

流動負債は2,659,374千円（同205,481千円減）となりました。これは、主に前受金が235,876千円増加したものの、未払金が79,170千円、未払法人税等が216,441千円減少したためです。

（固定負債）

固定負債は5,500,284千円（同332,614千円増）となりました。これは、主に公的保育事業における新規施設の設備投資のために、長期借入金が322,753千円増加したためです。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,717,104千円（同273,660千円増）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益361,853千円による利益剰余金の増加と、平成28年4月期の期末配当金52,409千円、中間配当金52,409千円による利益剰余金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年6月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,623,748	2,568,130
受取手形及び売掛金	1,062,262	1,088,287
原材料及び貯蔵品	17,490	4,842
繰延税金資産	111,669	111,669
その他	464,877	410,758
貸倒引当金	△2,335	△3,070
流動資産合計	4,277,713	4,180,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,089,874	5,307,063
減価償却累計額	△1,206,310	△1,458,379
建物及び構築物（純額）	3,883,564	3,848,683
リース資産	689,528	689,528
減価償却累計額	△93,141	△117,555
リース資産（純額）	596,387	571,973
建設仮勘定	246,487	725,978
その他	326,046	344,422
減価償却累計額	△205,326	△244,761
その他（純額）	120,719	99,660
有形固定資産合計	4,847,158	5,246,296
無形固定資産	41,237	33,533
投資その他の資産	1,309,861	1,416,316
固定資産合計	6,198,257	6,696,146
資産合計	10,475,970	10,876,763

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	891,346	961,609
リース債務	29,983	30,445
未払金	632,928	553,758
未払法人税等	268,510	52,069
前受金	440,327	676,203
賞与引当金	250,216	180,528
その他	351,541	204,759
流動負債合計	2,864,855	2,659,374
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	3,185,556	3,508,309
リース債務	575,371	552,479
退職給付に係る負債	188,504	212,418
資産除去債務	218,237	227,077
固定負債合計	5,167,670	5,500,284
負債合計	8,032,525	8,159,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	285,771	285,771
資本剰余金	510,439	510,439
利益剰余金	1,736,328	1,993,363
自己株式	△137	△137
株主資本合計	2,532,402	2,789,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	77
退職給付に係る調整累計額	△89,133	△72,410
その他の包括利益累計額合計	△88,957	△72,332
純資産合計	2,443,444	2,717,104
負債純資産合計	10,475,970	10,876,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日)
売上高	10,686,618
売上原価	9,108,811
売上総利益	1,577,807
販売費及び一般管理費	1,177,095
営業利益	400,711
営業外収益	
受取利息	4,322
受取配当金	5
設備補助金収入	156,868
その他	18,652
営業外収益合計	179,847
営業外費用	
支払利息	31,897
支払手数料	2,000
その他	286
営業外費用合計	34,184
経常利益	546,375
税金等調整前四半期純利益	546,375
法人税等	184,521
四半期純利益	361,853
親会社株主に帰属する四半期純利益	361,853

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日)
四半期純利益	361,853
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△98
退職給付に係る調整額	16,723
その他の包括利益合計	16,624
四半期包括利益	378,478
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	378,478

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自平成28年5月1日 至 平成29年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,944,364	<u>7,742,254</u>	<u>10,686,618</u>	—	<u>10,686,618</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,944,364	<u>7,742,254</u>	<u>10,686,618</u>	—	10,686,618
セグメント利益	148,580	<u>926,821</u>	<u>1,075,401</u>	△674,689	<u>400,711</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△674,689千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。